



湧き出でよ人材

創立100周年記念碑より

今月のテーマ
挑む

本部町立伊豆味小中学校

No.10
R6.7.2
発行

学校だより

文責 校長 伊波 勉



「水泳学習」と「水遊び」

伊豆味校の「水泳学習・水遊び」は、浜元にある「もとぶ元気村」の屋内プールを利用しています。

実は沖縄では「水難事故」で命を落としてしまうひとが、「交通事故」で亡くなるひとよりも多い、という統計があるそうです。子どもたちが「泳げるようになる」また、いざという時、助けが来るまで「水に浮いて待つ」ことができるように、次のことが重要だと言われています。

幼稚園生も簡易プールで「水あそび」です。一度は元気村にも行って、こども用プールで遊びました。



- 「早期の水慣れ」小さな頃から水に触れる機会を得て水に慣れること。
- 「水遊び」水遊びを通じて水に対する恐怖心を取り除くこと。プールなどでの楽しい経験を積むことで水を好きになること。
- 「基本的な安全知識」プールや海での基本的なルールを知ること。泳ぐ場所の選び方、危険な状況の回避方法などを知ること。
- 「監視の重要性」常に大人の監視が必要であることを教え、ひとりでは絶対に泳がない！ということを知ること。
- 「浮かぶなど、基礎的な技術」背浮きや前浮きなど、浮かぶための基本的な技術を習得すること。
- 「呼吸法」正しい呼吸法を学んで、水中での息継ぎの仕方を知ること。
- 「モチベーションとサポート」小さな成功を褒めてもらうことで自信を持たせ、挑戦を続ける意欲につながります。また、応援したりすることで、安心感を得ることもできます。



7月2日(火)は、小学生と一緒にバスに乗って元気村へ。

「水泳学習」「水遊び」は、体力向上や技術向上のためだけでなく、「命」を守るための授業でもあります。

小学生は、中学校の桂大先生、祐未先生、千彰先生の、3名の体育科の先生方の協力を得て、無事3回の「水泳」「水遊び」の学習を終えました。

中学生は、11名全員が1回目より記録を伸ばすことができました。そして、5名の生徒が25mを泳げるようになりました。よく頑張っています。



中学生も4コースを貸し切り。ぜいたくに使わせてもらい、思う存分泳ぎました。